

編集後記

越智浩二郎所長・金基淑副所長という新体制が発足して2年目によりやく『人間学研究』第5号をお届けできる運びとなりました。今回は本学人間学研究所が主催あるいは共同主催したシンポジウム・公開講演会の記録を5本掲載することとなりましたが、テープ起こしや整理などに予想以上に時間がかかり、発行が大幅に遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

本号に掲載されましたシンポジウムや公開講演会は2003年度から2004年度にかけて行われたものですが、今回掲載されなかったものも二つほどあります。ご紹介しますと、ウユンゲリル（烏雲格日勒）氏の公開講演会「遊牧から定住へ：中国東北部モンゴル族の文化変容」（2004年6月24日）と、坂上香氏・信田さよ子氏・森達也氏による公開上映会・シンポジウム「『ライファーズ』を観る、『ライファーズ』で語る」（2005年1月11日）です。これらもできるだけ早く紀要に掲載されるよう整理してゆく所存です。限られた時間と予算のなかで、2年間でこれだけの数をこなせたのも皆様方のご協力の賜物と感謝いたしております。一つの講演会やシンポジウムを企画・実行するまでにどれだけの準備と労力が必要なのかを、この2年間間近でみていて改めて実感いたしました次第です。とくに2004年度から本研究所の仕事を手伝って頂いている立石尚史さんにはひとかたならぬお世話になりました。ここに改めて感謝の意を表したいと思います。

本年度は本研究所の諸規定を整備し、改正規定のもとで、共同研究のさらなる充実をはかることとなりました。そして2004年度には3年間の計画で、文化人類学科と、2004年4月に設立されました現代社会学科の教員が中心となり、「『近代』における『制度的知』と『異端』の対面」という新しい共同研究プロジェクトがスタートしました。

厳しい状況のなかではありますが、これからも文化人類学科、臨床心理学科、現代社会学科の3学科が共同研究などを通じて、研究成果を内外に発信し続けていくことができればと願っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

金 基淑

編集委員

委員長：金基淑（人間学研究所副所長）

編集委員：越智浩二郎 森 正美 竹口 等

陸 君 今村 宏 樺 博行

編集事務：立石尚史

京都文教大学人間学研究所紀要 第五号

2005年3月27日 印刷

2005年3月31日 発行

編集・発行 京都文教大学人間学研究所

〒611-0041 宇治市槇島町千足80

☎0774-23-3121

印刷 （株）栄文堂印刷所